

研究課題名	内視鏡検診の偽陰性癌に関する多施設後ろ向き研究
研究期間	承認日から 2030 年 3 月 31 日まで
研究の概要	食道粘膜下層剥離術（ESD）を受けた患者さんのデータを後ろ向きに調査し、解析を行います。
研究の背景・目的	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学の関連施設のデータをもとに、内視鏡検診における偽陰性癌の特徴を明らかにすることです。
研究の対象	1996 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に、名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学の関連施設において内視鏡検診を受けた患者さんです。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、内視鏡所見、臨床経過、病理組織診断結果等
研究方法	電子カルテより患者さんの内視鏡所見と臨床経過、病理組織所見を含む検査データを調査し、内視鏡検診で発見された上部消化管腫瘍に関して評価を行います。
研究における医学倫理的配慮	個人情報の取り扱いについては、研究登録時に診療番号（カルテ ID）、氏名、生年月日等の個人を識別できる除法を削除し、研究登録番号を付番します。特定の個人を識別できる情報については提供せず、研究登録 ID と加工する前の情報とを照合できる対照表については、研究責任者が施錠可能な書棚に保管します。
研究の利用範囲	論文や学会発表に利用する予定です。
研究組織	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学
研究責任者	古川 和宏
問い合わせ先	電話番号：052-744-2172
当院担当者	公立西知多総合病院 消化器内科 鈴木 悠土